

厚生労働科学研究費補助金（がん政策研究事業）
分担研究報告書

がんの診療体験に関するスケールの日本語版の作成に関する検討

研究分担者 高山 智子 国立がん研究センターがん対策情報センター 部長

研究協力者 井上 洋士 国立がん研究センターがん対策情報センター 客員研究員

研究要旨

本研究では、がん相談支援の有効性の検証を行うための指標開発を行うにあたり必要な測定用具となるPicker Patient ExperienceスケールおよびPatient Centered Communication Assessment Itemsについて日本語訳版を作成することを目的とした。

AHRQの翻訳手法に基づき翻訳を行い、2つの日本語訳版を作成した。今後がん相談支援の有効性の検証を行う全体の枠組みで活用していくことで、より繊細に測定が可能になるとともに、全体の枠組みの概念整理等にも活用されることが期待される。

A. 研究目的

複雑化し増え続けるがん患者らの相談支援ニーズに対応するために、エビデンスに基づく持続可能で適切な相談支援体制の確立が必要である。本研究では、がん相談支援の有効性の検証を行うための指標開発を行うにあたり必要な測定用具となるPicker's Patient Experience スケールおよび Patient Centered Communication Assessment Items について日本語訳版を作成することを目的とした。

B. 研究方法

1. Picker's Patient Experience (PPE)

Picker's Patient Experienceは、Picker Instituteの開発した7つのドメインで構成されるケアの質について患者の経験を尋ねるスケールで[1][2]、15項目版により国際比較[3] や、がんの領域でも、34項目版[4] や、ドメインの一部を用いて[5]、ケアの質に関する研究でも用いられている。本研究では、15項目版

のPicker's Patient Experienceの日本語訳版を作成した。7つのドメインは、情報と教育、ケアの調整、身体的安楽、情緒的サポート、患者の価値観の尊重、家族や友人の参加、移行時の継続性で構成される。

2. Patient Centered Communication Assessment Items (PCC)

Patient Centered Communication Assessment Items

患者中心ケアのコア要素とされる患者中心のコミュニケーションについて、National Cancer Instituteを中心に、がん医療において測定できるスケールとして開発が進められている、16項目で構成されるスケールである[6][7]。ここでは、患者中心のコミュニケーションの6つのコアとなる機能（情報交換をすること、関係構築をすること、感情に応じること、不確実なことをマネジメントすること、意思決定をすること、セルフマネジメントを可能にすること）により、ヘルス

アウトカムの向上につながるものとして概念が整理されており、概念枠組みの検討[8]および項目妥当性の一部の検討[9]が行われている。

3. 日本語への翻訳方法

Agency for Healthcare Research and Quality's (AHRQ) が開発している医療の提供者やシステムについて利用者の立場から評価するスケールの他言語への翻訳方法[10]を参考に、日本語訳の作成を行った。この翻訳方法では、2人の翻訳者がそれぞれ他言語から使いたい言語へ翻訳し、それぞれの翻訳内容をバイリンガルの者がレビューを行い、その上で翻訳された2つの内容の比較を行うというものである。これにより、単一の翻訳とその逆翻訳 (back translation) 手法によるエラーを起りにくくし、翻訳しようとする言語の表現の幅を広げ、わかりやすい表現につなげることができるとされる。

C. 研究結果

Picker's Patient Experience (PPE) および Patient Centered Communication Assessment Itemsの英語項目とその日本語訳について、表1に示した。

D. 考察

今回がん相談支援の有効性の検証を行う全体の枠組みで活用する2つの診療体験に関わるスケールの日本語翻訳版を作成した。今後、パイロット調査等を通して、さらに各スケール項目の表現等を精練させていくことが必要である。また別途開発を進めている「がんの相談支援の体験を測定するスケール」は、相談体験そのものが非常に捉えに

くい可能性がある。そのため、調整因子として測定する体験についても、可能な限り繊細に捉えていくことが必要であると考えられ、今回翻訳を行った2つのスケールがその役割を担える内容となっていることが期待される。また2つのスケールは、それぞれ構成要素が整理されていることもあり、全体枠組みにおける構成要素ごとの関連等の検討や概念整理にも活用可能であると考えられる。

E. 結論

がん相談支援の有効性の検証を行う全体の枠組みで活用する2つの診療体験に関わるスケール Picker's Patient Experience (PPE) および Patient Centered Communication Assessment Itemsの日本語翻訳版を作成した。今後、実査を通して各スケール項目の表現を精練させるとともに、全体枠組みの中での活用していくことが期待される。

本研究の翻訳作成や表現の調整にあたっては、伊東 洋介氏に多大なるサポートをいただきました。ここに感謝申し上げます。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表 1. 論文発表 2. 学会発表
(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 2. 実用新案登録 3. その他
なし

I. 引用文献

- [1] P.D. Cleary, S. Edgman-Levitan, M. Roberts, T.W. Moloney, W. McMullen, J.D. Walker, T.L. Delbanco, Patients evaluate their hospital care: a national survey., *Health Aff. (Millwood)*. 10 (1991) 254–67. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/1778560> (accessed June 7, 2017).
- [2] P.D. Cleary, S. Edgman-Levitan, *Health Care Quality*, *JAMA*. 278 (1997) 1608. doi:10.1001/jama.1997.03550190072047.
- [3] C. Jenkinson, A. Coulter, S. Bruster, The picker patient experience questionnaire: Development and validation using data from in-patient surveys in five countries, *Int. J. Qual. Heal. Care*. 14 (2002) 353–358. doi:10.1093/intqhc/14.5.353.
- [4] J.Z. Ayanian, A.M. Zaslavsky, E. Guadagnoli, C.S. Fuchs, K.J. Yost, C.M. Creech, R.D. Cress, L.C. O'Connor, D.W. West, W.E. Wright, Patients' perceptions of quality of care for colorectal cancer by race, ethnicity, and language, *J. Clin. Oncol.* 23 (2005) 6576–6586. doi:10.1200/JCO.2005.06.102.
- [5] E.H. Wagner, E.J. Ludman, E.J. Aiello Bowles, R. Penfold, R.J. Reid, C.M. Rutter, J. Chubak, R. McCorkle, Nurse navigators in early cancer care: A randomized, controlled trial, *J. Clin. Oncol.* 32 (2014) 12–18. doi:10.1200/JCO.2013.51.7359.
- [6] R.M. Epstein, R.L. Street Jr., *Patient-Centered Communication in Cancer Care: Promoting Healing and Reducing Suffering*, 2007. doi:NIH Publication No. 07-6225.
- [7] R.L. Street, K.M. Mazor, N.K. Arora, *Assessing Patient-Centered Communication in Cancer Care: Measures for Surveillance of Communication Outcomes.*, *J. Oncol. Pract.* 12 (2016) 1198–1202. doi:10.1200/JOP.2016.013334.
- [8] L.A. McCormack, K. Treiman, D. Rupert, P. Williams-Piehot, E. Nadler, N.K. Arora, W. Lawrence, R.L. Street, *Measuring patient-centered communication in cancer care: A literature review and the development of a systematic approach*, *Soc. Sci. Med.* 72 (2011) 1085–1095. doi:10.1016/j.socscimed.2011.01.020.
- [9] K.M. Mazor, R.L. Street Jr., V.M. Sue, A.E. Williams, B.A. Rabin, N.K. Arora, *Assessing patients' experiences with communication across the cancer care continuum*, *Patient Educ. Couns.* 99 (2016) 1343–1348. doi:10.1016/j.pec.2016.03.004.
- [10] AHRQ, *Translating CAHPS ® Surveys*, (2017). <https://www.ahrq.gov/sites/default/files/wysiwyg/cahps/surveys-guidance/helpful-resources/translating/translating-cahps-surveys.pdf> (accessed September 9, 2017).

表 1. Picker's Patient Experience スケールおよび Patient Centered Communication Assessment Items の日本語訳版

■ Picker's Patient Experience	
英語	日本語訳 (2名+Native1名 計3名での検討結果)
1. When you had important questions to ask a doctor, did you get answers that you could understand?	1. (あなたにとって) 大事な質問を担当医にたずねたとき、あなたがわかるように回答してもらえましたか?
Yes, always/Yes, sometimes/No/I had no need to ask	はい、常にわかりやすく答えてもらえる／時々わかりやすく答えてもらえる／いいえ／特に大事な質問はなかった
2. When you had important questions to ask a nurse, did you get answers that you could understand?	2. (あなたにとって) 大事な質問を看護師にたずねたとき、あなたがわかるように回答してもらえましたか?
Yes, always/Yes, sometimes/No/I had no need to ask	はい、常にわかりやすく答えてもらえる／時々わかりやすく答えてもらえる／いいえ／特に大事な質問はなかった
3. Sometimes in a hospital, one doctor or nurse will say one thing and another will say something quite different. Did this happen to you?	3. 時に同じ病院の中でも、医師や看護師が全く違うことを言うことがあります。そのようなことがありましたか。
Yes, often/Yes, sometimes/No	はい、かなりそういうことがあった／はい、時々そういうことがあった／いいえ、そのような経験はなかった
4. If you had any anxieties or fears about your condition or treatment, did a doctor discuss them with you?	4. ご自分の症状や治療について不安に感じていることについて、担当医と話せましたか?
Yes, completely/Yes, to some extent/No/I didn't have any anxieties or fears	はい、よくあった／ときどき／いいえ
5. Did doctors talk in front of you as if you weren't there?	5. 医師はあなたがそこにいないように話していましたか。
Yes, often/Yes sometimes/No	はい、いつも／はい、ときどき／いいえ
6. Did you want to be more involved in decisions made about your care and treatment?	6. ご自身の療養や治療の決定にあなたはもっとかかわりたかったですか。
Yes, definitely/Yes, to some extent/No	はい／はい、ある程度／いいえ
7. Overall, did you feel you were treated with respect and dignity while you were in hospital?	7. 病院の医療者は、あなたを尊重して丁寧に接していたと感じましたか。
Yes, always/Yes, sometimes/No	はい／はい、時々／いいえ
8. If you had any anxieties or fears about your condition or treatment, did a nurse discuss them with you?	8. ご自分の症状や治療について不安に感じていることについて、看護師と話せましたか?
Yes, completely/Yes, to some extent/No/I didn't have any anxieties or fears	はい、不安に感じていたことをすべて話せた／ある程度は話せた／いいえ、話せなかった／特に不安に感じたことはなかった
9. Did you find someone on the hospital staff to talk to about your concerns?	9. ご自分が不安に感じていることについて、病院スタッフの誰かに話せましたか

Yes, definitely/Yes, to some extent/No/I had no concerns	はい／ある程度は／いいえ／特に不安に感じたことはなかった
10. Were you ever in pain?	10. 痛みはありましたか？
Yes/No If yes…	はい／いいえ 「はい」の場合は：_____
Do you think the hospital staff did everything they could to help control your pain?	病院側のスタッフはあなたの痛みを取り除くために十分な配慮や対処をしてくれたと思いますか？
Yes, definitely/Yes, to some extent/No	はい／はい、ある程度は配慮や対処をしてくれた／いいえ
11. If your family or someone else close to you wanted to talk to a doctor, did they have enough opportunity to do so?	11. 家族や身近な誰かが医師と話したいとき、そのようにできる機会が十分ありましたか。
Yes, definitely/Yes, to some extent/No/No family or friends were involved/My family didn't want or need information/I didn't want my family or friends to talk to a doctor	はい、十分にあった／はい、ある程度／いいえ／私の家族や身近な人は関わっていない／家族は情報を望んでいなかった／私は家族や身近な人に関わってほしくなかった
12. Did the doctors or nurses give your family or someone close to you all the information they needed to help you recover?	12. 医師や看護師は、あなたの家族や身近な人が回復を支えるために必要な情報を十分提供していたと思いますか？
Yes, definitely/Yes, to some extent/No/No family or friends were involved/My family or friends didn't want or need information	はい、十分にあった／はい、ある程度／いいえ／私の家族や身近な人は関わっていない／家族は情報を望んでいなかった
13. Did a member of staff explain the purpose of the medicines you were to take at home in a way you could understand?	13. 家に帰って薬を服用する目的について、医療スタッフはあなたにわかるように説明しましたか。
Yes, completely/Yes, to some extent/No/I didn't need an explanation/I had no medicines-go to question 15	はい／はい、ある程度／いいえ／私は説明は必要なかった／薬はなかった（→質問15へ）
14. Did a member of staff tell you about medication side effects to watch for when you went home?	14. 帰宅後に、気をつけるべき薬の副作用について医療スタッフから、説明を受けましたか？
Yes, completely/Yes, to some extent/No/I didn't need an explanation	はい／はい、ある程度／いいえ／私は説明は必要なかった
15. Did someone tell you about danger signals regarding your illness or treatment to watch for after you went home?	15. 帰宅後に、気をつけるべき症状や兆候について、医療スタッフから説明を受けましたか？
Yes, completely/Yes, to some extent/No	はい／はい、ある程度／いいえ

■ Patient Centered Communication Assessment Items	
英語	日本語訳 (2名+Native1名 計3名での検討結果)
1) I was treated with sensitivity and respect.	1) 私は、配慮のある、尊重された対応を受けた
2) I felt known as a person.	2) 私は一人の人として扱われていると感じた。
3) I felt listened to.	3) 私の話にしっかり耳を傾けてくれていると感じた。
4) I felt comfortable asking questions and voicing my concerns.	4) 遠慮せずに（医療スタッフに）質問したり伝えることができた
5) I felt that everyone worked together as a team in taking care of me.	5) 医療スタッフが、一丸となって治療・療養を支えてくれていると感じた
6) My wishes were respected.	6) 私の希望は配慮された。
7) I got the information I needed, when I needed it.	7) 私は、必要なときに必要な情報を入手できた
8) I got clear, understandable information.	8) 私は明確で、わかりやすい情報を入手できた。
9) I knew whom to contact if I had a question or concern.	9) 質問や心配事があるときには誰に聞けばよいか知っていた
10) I felt comfortable bringing up anything that was on my mind.	10) 私は、自分の気にかかったことを何でも気楽に話せると感じた。
11) I got consistent information from all my physicians and nurses; everyone was on the same page.	11) 私は、医師や看護師すべてから一貫した情報を得られた。
12) My cancer care team helped me cope with any uncertainty or unknowns.	12) 担当チームの各スタッフは、不確かなことやわからないことに対応する手助けをしてくれた。
13) My cancer care team helped me cope with difficult feelings, like fear, anxiety, and feeling down.	13) 担当チームの各スタッフは、恐れや不安、沈んだ気分といった不安定な気持ちに対応する手助けをしてくれた。
14) I felt optimism and hope from my physicians and nurses.	14) 私は、医師や看護師の対応に、前向きさや希望を感じられた。
15) I was involved in making decisions as much as I wanted.	15) 私が必要と思う分、療養や治療の決定にかかわることができた
16) I knew whom in the health care system I could reach out to if I was worried that something had gone wrong with my care.	16) 受けた治療等で何か間違ったことが起きたのではないかと不安なときに、問い合わせられる窓口を知っていた。
Never/Sometimes/Usually/ Always/Does not apply	全くそうでなかった/時々そうだった/だいたいそうだった/あてはまらない